

# 骨シンチグラフィとは

～骨シンチをお受けになる方へ～

## 1. 骨シンチグラフィとは

骨シンチグラフィは骨シンチとも略され、RI 検査の中でもよく行われる検査です。X 線検査がとくに骨の形を見るのに適しているのに比べて、この検査では、骨の形には変化がみられない病変や骨折などを写し出すことができるのが特徴です。病変や骨折の部分にとくに取り込まれる放射性医薬品を用いて写真を取り、その部分だけが濃く写っていることで、病変の部位がわかります。骨シンチでは、通常、全身を検査します。全身の骨を一度にしかも簡便に検査することができます。そのため、病変部位がどこにあるかわからないような場合には、病変部位を探し出すことができます。

## 2. 骨シンチの検査の流れ

【検査前に必要な準備は？】

食事や飲物の制限はありません。

撮影時はネックレス等の貴金属類、また金属の付いた衣類はお取りいただきます。当日は検査のしやすい服装でお越しください。

くすりを注射します

放射線科・RI 室にて、検査に必要な放射性医薬品を静脈注射します。

くすりが骨に取り込まれるまで 3 時間ほどかかります。

..... おまちください(約 3～4 時間) .....

・待ち時間は検査の状況によって異なります。

・この間は自由にお過ごしください。朝食や昼食は普通におとりください。

(他検査により制限がある場合はそちらに従ってください。)

.....

検査の直前にトイレにいったり排尿します

くすりが尿中に排泄されますので、膀胱にくすりが残っていると正確な写真が撮れません。直前に排尿を済ませてください。

撮影をします

検査用のベッドに仰向けに寝ている間に検査します。カメラをゆっくり動かして全身を撮ります。20～30 分で検査は終了です。

わからないことやご不安な点がございましたら、遠慮なくおたずねください。

独立行政法人 国立病院機構 善通寺病院 放射線科

TEL : 0877-62-2211 (内線 249)